

出会い ふれあい 助け合い

# サロンのあべの

VOL.170

## 小さな小さな国際交流

—不要になった車椅子を南アフリカへ—



△サロン・あべの△7月の出会い

平成12年7月15日(土) 午後1時から△サロン・あべの△7月の出会いを開催しました。

7月のパネラーは、日本で不要になった車椅子を母国の南アフリカ共和国に贈り続けているトーマス・C・カンサ氏(大阪市平野区在住)写真。

### プロフィール

南アフリカ共和国ナタール州トンガートに生まれる。1984年より日本在住。英会話教師。詩人。南アフリカに物資を送るNGO「ヒランガニ・ンゴタンド」(愛とともに手を携えて)を運営。

女性と子どもたちの地位向上に貢献する活動が認められ、マスメディアの推奨を受けて「1

99年度シチスン・オブ・ザ・イヤ―を受賞。

トーマス・C・カンサ詩集(日英対訳)は、

◆抑圧下の子よ話してごらん

◆ドリームメーカー

◆友よ、君には何が見える

◆MY HANDSOME AFRICA  
(マイ ハンサム アフリカ)の四冊がある。

南アフリカの子供たちを支援する会

南アフリカの国民の誰もが、「アパルトヘイト(有色人種差別政策)は終わった」と思うようになるまで、アパルトヘイトに終焉はない。現実は何百万人という黒人が今も心と身体に受けた傷に苦しんでいる。若い世代は自由を求めて戦っているうちに教育を受ける機会を失い、ホームレスになるなど社会から

落ちこぼれ、ストリートチルド

レンの数も増えている。政府は

アパルトヘイト時代の経済システムの改革に追われ、手が回らない状態。今後、南アフリカが

どうなるのか、南アフリカを含む国際社会の誰一人としてわかっていない。手始めにしなければならぬことは、あらゆる階層の南アフリカ人が差別の鎖を断ち切り、知恵を出し合うこと。

贈った車椅子2000台

トーマス・C・カンサ氏が子供や女性たちを支援する活動を始めて10年以上の歳月が流れた。

車椅子を送るようになったのは、粗大ゴミの中にまだ使える車椅子が捨てられていたのを見つけたのがきっかけ。南アフリカでは、車椅子は高価なため貧しい子どもたちは手に入れることができない。そこで障害者施

設などを回り、使えない車椅子を集めて修理して母国に贈るようになった。その間多くの方が手を差しのべてくれた。そこでトーマス・C・カンサ氏が学んだのは、個人の力は小さくても、ひとたびそれが集まれば夢はかなうということ。毎年数回、アジアやアフリカ各地に支援物資を届けられるようになったのは

いろいろな人の善意のお陰。衣類や文房具、ミシンなどさまざまな支援物資が現地で活用されている。

トーマス・C・カンサ氏が最も力をいれている車椅子については、家から一步も出たことがなかった子が13歳にして初めての外の景色を見た、など日本では考えられないような報告が寄せられている。

これまで贈り届けた車椅子はこのほど2000台になった。

日本の子らに広がる支援の輪

不要になった車椅子を集めてアフリカに贈るといふ運動は、

大人が中心となって始めたが、意外にも子どもたちの目をアジ

アやアフリカに向ける結果となった。きっかけは5年前に出会ったある中学校の上田先生。上

田先生はこの運動の主旨に賛同し、生徒たちに参加を呼びかけられた。それが今では、府内外

のおよそ20の中学校にまで広がり、ほとんどの学校が車椅子の補修を担当している。玩具や文

房具を集める学校もある。平野の小学校の6年生たちは、空き缶の収益金を車椅子の輸送費に

寄付してくれた。

また、阿倍野区で車椅子の試乗と修理の呼びかけのイベント

を行った時のこと、わずか5、6歳の男の子が車椅子をきれいに磨いてアフリカの子どものた

※※※ お知らせ ※※※

<サロン・あべの> 9月の出会い

日時…9月16日(土)午後1時～4時

場所…育徳園3階幸分ホール  
(スロープ・車イストイレ有り)

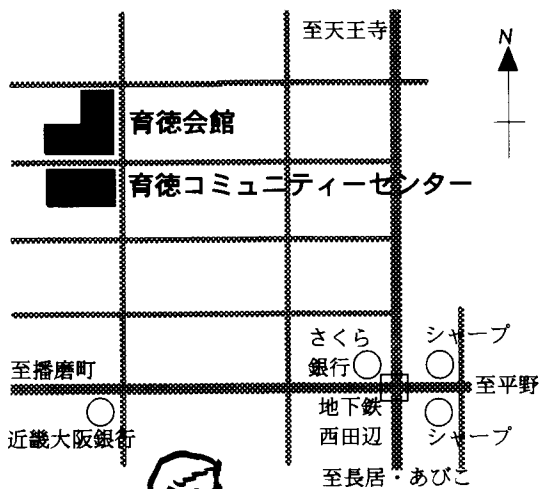
[大阪市阿倍野区阪南町5-12-5  
TEL 06-6621-1901]

内容…車いすで、ダンス! ダンス!  
ダンス!

パネラー…中谷まゆみ氏  
(ウィルチェアードダンス育成会・会長)

会費…なし

問い合わせ先…  
TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



私たちの活動を支援・協力し  
てくださる人々のお陰で、年4  
回コンテナを出すことができる

基本的な人権さえ守られてい  
ない人々に希望が与えられるよ  
う、皆さまのご理解とご支援を

心からお願ひしたい。  
休憩時間にカンリバやシェイ  
カーなど、アフリカの楽器も見  
せていただきました。この日、  
南アフリカのストリートチルド  
レンやアパルトヘイトのことに  
触れながら自由や分かち合いの  
精神について話されました。  
「私は人、白人も黒人も日本人  
も関係なく、人間の立場で活動

めにあげたいと言ひ出した。こ  
のような気持ちを出発点に、も  
っともっと多くの先生や生徒た  
ちが社会問題や福祉活動に参加  
してくれるよう願っている。

あなたの方を  
ようになった。コンテナにかか  
る費用は1回につき20万円〜25  
万円。それ以外に年間約80万円  
が車と車庫と倉庫の維持費に、  
そして約30万円が国内の通信費  
用にかかる。現在のところ、そ  
の主な資金源は詩集の売上金を  
当てている。

参加者16名

している。母国の南アフリカの  
分かち合いの気持ちを大事にし  
ていきたい。」  
と言われ、幸せや自由とはなに  
かを、深く考えさせられたハサ  
ロン・あべのV7月の出会いで  
した。

山村 貴司  
写真・山野 莊一

## 自立生活理念を考える —自己決定と介助—

■ 3 ■

黒田隆之

今回は自己決定について考える。

自己決定 (self-determination) とは、自分で決めるということである。自分の肉体・精神に関わる決定はその所有者である自分自身によってなされるべきであるということである。ここでは、自己決定という概念を検討するにあたり研究蓄積の多い「自由」に関する議論を用いて考えてみたい。

J. S. ミルは、『自由論』の中で、「人類がその成員のいずれか一人の行動の自由を個人的にせよ集団的にせよ、干渉することが、むしろ正当な根拠をもつとされる唯一の目的は、自己防衛である(中略)。また、文明社会のどの成員に対してにせよ、彼の

意志に反して権力を行使しても正当とされるための唯一の目的は、他の成員に及ぶ害の防止にある」と述べている。さらに「いかなる人の行為でも、そのひとが社会に対して責を負わねばならぬ唯一の部分は、他人に関係する部分である。単に彼自身だけに關する部分においては、彼の独立は、当然絶対である。個人は彼自身に対して、すなわち彼自身の肉体と精神とに対しては、その主権者なのである」と述べている。

そしてミルは、個人の自由に干渉する理由にならないものとして次のようなことも述べている。「いかなる人も、またいかに多数の人々も、すでに成年に達している他の人間に向かって、その人の利益のためにその人が自分で処置しようとするにその生活を処置してはならない、と言う権利は持っていない。その人こそ、彼自身の幸福に最大限の関心を持っている人なのである。(中略) 社会が一個人としての彼にもっている関心は(他の人々に対する彼の行為に関しては別であるが)、微々たるものであり、また全く間接的なものである。(中略) 彼自身にのみに関係ある事柄について、

彼の判断と目的とを破棄させようとする社会の干渉は、一般的な推定を根拠としているに相違ない。だがこのような一般的な推定は、全然誤った推定であるかも知れないし、また、たとえ正しいとしても、個々の場合にこれを適用するに当たって、その場合の事情に関して単に外から傍観している者と同じくらいの知識しかもたない人々によって、謝って適用される場合があることもあろうし、ないこともある。それ故にこそ、人間関係の事柄のうち、この部分において、個性はその本来の活動領域をもつのである」と。

障害者が、自由を侵害され、自己決定を侵される理由は、ここでミルが述べているような誤った推定を用いた、当人(侵害者)にとつてみれば極めて良心的な悪意のない行為によるものである場合が多い。「障害者には判断能力がない」、「障害者は半人前である」、「障害者は保護すべきである」、「障害者は一人では何もできない」などという誤った、しかしかなり浸透している推定をもとにした、パターンリスティックな行為による自由の侵害は、一般的にその行為が道

ハートブレイクの  
性を伝えるための学習会

ハートブレイクのスタッフによるユニークな方法で学習会を計画しています。教育現場・各職場・ご家庭の中で、そして、あなた自身の何かの手がかりがあれば・・・と思っています。あなたの参加をお待ちしております。楽しくみんなで考えて見ませんか？  
コーヒーブレイクをいっしょから・・・。

学習会Ⅰ「もっと知ろうよ性のこと」

日時＝9月9日(土) 10:00～16:00

学習会Ⅱ「今時の性教育あれこれ」

あなたのカラダ誰のもの？

日時＝9月23日(祝) 10:00～16:00

場所：神戸市・東灘区民センター8階会議

室 JR 神戸線・住吉駅隣接

参加費：学習会Ⅰ＝2,000円

学習会Ⅱ＝2,000円

定員：45名

締切：8月31日(定員になり次第締め切ります)

主催：「思春期ころ&カラダ 性の相談」  
ハートブレイク

問い合わせ先：

FAX・・・078-851-7418

Eメール・h-break@portnet.ne.jp

徳的に善であり、そうすべき良い行いであるととらえられていることが多いために、批判されることがほとんど無い。  
しかし、ミルは次のようにも述べている。  
「この(自由に関する)所説を、諸所の能力の成熟している人々にだけ適用するつもりであることは、おそらく言う必要はない。われわれは、小児のことを述べているのではなく、また、男女の成年として法律で定められているであろう年齢よりも下にある若い人々のことを述べているのでもない。いまだ他の人々の世話を受ける必要がある状態にある人々は、外からの危害に対して保護されなくてはならないと同様に、彼ら

自身の行動に対しても保護されなくてはならない」と。「いまだ他の人々の世話を受ける必要がある状態にある人々」に障害者が含まれているのかどうかは分からないが、このような考え方は、現在でも「自分の身の回りのこともでけへんくせに：」というようによく使われるものである。  
ミルは、個人の独立は絶対であり、自身が自分の主権者であるとしながらも、一部の人に対してはその自由を制限を加え保護する必要性をとなえている。しかし、「他の人々の世話を受ける必要がある状態にある人々」であるかどうかはいったい誰が判断するのであろうか。それは特定の者

の自由を奪うために恣意的に行われはしないだろうか。誤った一般的な推定を根拠にその判断は下されはしないだろうか。  
もちろん判断能力が不十分な人のために保護が必要であるという意見を完全に捨てることはできる論理を筆者は持っていない。しかし、保護という名のもとで、個人のありとあらゆる意思決定が制限されるといふ状況はあつてはならない。子どもであろうと未成年であろうと、障害者であろうと、個人の独立は絶対であり、当たり前前に自由を持つ。保護を前提として部分的に自由を認めるといふ考え方は、不当に個人の自由を制限することにつながる。

〈サロン・あべの〉では、パネラーのお話を聞いた後、参加者全員に、必ず発言をしてもらいます。質問でも感想でもかまいません。簡単な自己紹介だけになる場合もあります。その一言を大切にしています。運営委員も、参加者として発言をします。

人前で話すのが苦手。そういう人も多いと思います。ぼく自身も苦手でした。でも、必要に迫られ、毎回発言するうちに、少しずつ慣れてきたのです。代表になった当初は、司会役も求められましたが、それは、富田さんにお任せして、ぼく自身は、パネラーとのやりとりを大切にしていました。代表の役割のひとつに、「サロン・あべの」紙のトップ記事を書く仕事があります。内容は、前回の出会いを簡単にまとめるわけですが、これには本当に苦勞をしました。パネラーとのやりとりは、この原稿を書くことと深く関係していました。パネラー

のお話しを確認したり、参加者の思いを代弁することで、まとめの原稿を書くときのポイントが、見えやすくなったからです。人前で話すことと同じく、文章を書くことも苦手でしたが、これも必要に迫られ、毎月書くうちに慣れてきました。慣れると言うよりも、自分なりのスタイルで書けるようになったと思います。

人前で話すこと。文章を書くこと。代表としての必要に迫られつつも、この経験は、自分にとっての財産になっています。必要に迫られるというのも、決して悪いことではありません。〈サロン・あべの〉の代表を、山村さんに代わってもらったのも、彼自身にとって、必ずプラスになると思ったからです。

山村貴司(やまむらたかし)  
彼を一言で表現するならば、「物静かなスポーツマン」でしょう。

ずっと水泳をしているので、長居障害者スポーツセンターでは、相当な顔かもしれません。でも、障害者関係の活動をした経験はないそうです。

彼とは、仕事の関係で知り合いました。ぼく自身が、運営委員になると、ほとんど同時に、彼を〈サロン・あべの〉に誘いました。だから、〈サロン・あべの〉での活動に限れば、あまり差はありません。ただ、彼には、代表になるまでの数年間、会計という裏方をしてもらっていたのです。

## 枝豆

枝豆はゆでるときや、ゆでたあとに塩をふる。その塩分がビールによく合う。そして、枝豆の甘さや香り、見た目、歯触り、舌触りなどもビールとの相性がいい。  
なにがなんでも「かるた」です。

解説付き かるた冊子一五〇円

## ★同じ体験はどこにあるか

同じ体験をわかちあうグループをセルフヘルプグループという。たとえば心身の障害のために、いろいろな体験をしてきた人たちは、同じ体験をもつ人たちと、その気持ちをつわかちあうことで生きる力を得たり、勇気を与えられたりする。先月号のサロン紙に書かれていたピア・カウンセリングも、これと同じことだろう。パニック障害の人たちのグループが、先日テレビで紹介されていたが、これも「なった人でなければ理解できない体験」をつわかちあう目的でつくられていた。



同じ体験をした人どうしでないと、わかりあえないことが、きっと多いのである。ただ「同じ体験」でも、人によって体験は微妙に違ってくる。そしてその違いが共感を難しくする場合がある。例を出してみよう。

親しい家族や友人を亡くした人の会が、いま全国各地につくられている。そこでは死別に伴う体験がわかちあわれる。愛する人を亡くした体験は共通だが、ある人は子どもを、ある人は配偶者を亡くしている。親を亡くしたという人もいる。死別ということは同じでも亡くした人が違う。そのため共感は難しい。

たぶん、そういった理由から、子どもとの死別という、より限定された共通の体験で結ばれた会がつくられている。しかし、それでも難しさは残るらしい。そこには子どもを病気で亡くした人、事故で亡くした人、自殺で亡くした人がいる。子どもを病気で亡くしたある母親は、

自殺した子どもの話を聞くと「命を粗末にするなんて許せない！」と、共感どころか怒りさえ覚えたそう。また交通事故で子どもを亡くした親は病気で子どもを亡くした親に向かって「あなたは子どもとの別れの時間をもつことができた。それだけで幸せだ」と言い、悲しみ嘆くことを許さなかったという。

では、子どもを病気で亡くした親どうしなら無条件で共感しあえるのか。二歳で子どもを亡くした母親は、一八歳で子どもを亡くした親に、こういわれたそうだ。「良かったわね、思い出が少なくて。思い出が多い私のほうが辛いよ」。私は、この話を聞いたとき、その酷い言葉に息を呑んだ。

もちろん、これは極端な例にちがいない。子どもを亡くした親たちの文集を読めば、どのような死因であろうと、またどのような年齢で亡くなるうと、親たちが互いの悲しみを理解しあっている様子

が伝わってくる。

ただ、異なる人間であるかぎり、全く「同じ体験」をすることはありえないことも事実である。どこかが何か違うものだ。また、その些細な違いにこだわり、自分の辛さだけは特別だと考えるのも人の自然な傾向だろう。しかし、その体験の違いを乗り越えて、いまの思いを理解しあうことに、人としてのつながりや共感の基礎がある。

自分にしか与えられていない、他の誰の体験とも似ていない体験を深く見つめることで、多くの人のさまざまな状況に自分を重ねあわせ、その喜びや苦しさを知ることができる。そうして初めて私たちは、離れていた家族に再会するように、多くの隣人と出会うのである。(知)

## 好評のエッセイ!

岡知史著

- 知らされない愛について
- ほんの少しの神に近い部分

◎ どちらも 700円  
06・6691・1028 富田まで

たまちゃん

### 3 貧乏しゃぶしゃぶ

ところでたまちゃんはあまり料理が得意でないらしいですが、この間わが家へ来て「しゃぶしゃぶ」を作ってくれました。

「しゃぶしゃぶ」といっても食材はぶた肉とキャベツだけです。

どちらも煮えると、ポン酢をつけて食べます。ただこれだけのことですが、ポン酢がよく効いていて絶妙な味です。おかげで普段よりごはんが一膳多く食べられます。

たまちゃん曰く、

「時間もかからないし、お金もわずかだし、手間も省けるので、名付けて『貧乏しゃぶしゃぶ』というのよ」と笑っていました。

「『貧乏しゃぶしゃぶ』どころか、他の食べる物と比べると栄

養満点で『栄養しゃぶしゃぶ』

やんか」

と私が言い返すと、

「『栄養しゃぶしゃぶ』じゃダメ。やっぱり『貧乏しゃぶしゃぶ』がびったりなんよ」と彼女はまた笑いました。

最初にも書いたようにたまちゃんは何でもよく知っているのですが、数字にはどうも弱いようです。以前に家庭用の電話と携帯電話の番号を聞くと、どちらも間違って教えてくれるのです。でも本人はそ知らぬ顔です。彼女のこういうところがかわいくて、憎めないのかも知れません。

いずれにしても私はたまちゃんに畏敬の念を抱き、彼女に出会えたことを心からうれしく思っています。

(たまちゃん おわり)

## 晴れのち晴れ

②③

稲垣 恵雄



# 植物あれこれ

第十九回

山口康二郎

「植物は考える」

―ヒトは植物によって生み出された?!―

植物は、種子は食べられては困るが、種子を包んだ子房の部分を動物に提供することで、種子をばらまいてもらうために、さまざまな形へと変化してきました。特に霊長類の動物にとって、小鳥などが食べられないような大きな果実は、大変なごちそうになっています。例えば、最近日本でもなじみの深い存在になりつつあるドリアンなどがありません。

ドリアンは重さ一キロ以上はある卵形や、楕円形をした果物です。表面にはトゲのような突起物があり、鳥には到底食べられません。

ドリアンやライチなどは熱帯に分布し、そこには霊長類が多く暮らしている場所でもあります。植物は鳥が食べるのに適した果実をつくり、霊長類が食べるのに適した

果実をつくる能力をもっているといえます。

これまで述べてきましたように、植物は花粉を媒介する際は、風など自然の力を利用したり、昆虫などの手を借りるなど、実にいろいろなものを利用して生殖活動を行っているばかりでなく、種子をばらまく段階でも積極的に動物を利用しているのです。

こうした植物の他方本願のお陰で、動物も人間も地球上に誕生する基盤Ⅱ食料が出来たのです。植物が果実というものを作らなかつたら、人間そのものも存在していなかつたかも知れないといえます。

数十年前、世界の学者が「もし植物が地球上からなくなつたらどうなるか」というテーマで論争があつたと聞きます。その中では大きく二つの意見がありました。一つは酸素が欠乏し、動物は窒息するという意見でした。結果は後者で、窒息する前に動



物は餓死することがわかつたといわれています。

植物が地球上にあらわれたのは三十億年も前です。二酸化炭素と水と太陽のエネルギーを使い無機物を作り出しました。

その植物をムシヤムシヤと食べることで動物はエネルギーを得ているのです。

トラやライオンのように肉食動物も植物なしでは生きられません。植物が種子を作り出し、果実を実のらせるようになった後に、それを食べて暮らすことが出来る動物たちも誕生したのです。

植物あつての人間であることを、ゆめゆめ忘れないようにしたいものです。

## 美智子のこんな話

岸田美智子

介護保険制度が始まって

4月から介護保険制度が始まって4カ月がたちました。この間、私自身が受けた影響や仲間から伝わってきたことなどを書いてみますと、まず介護保険料が加わって、国民健康保険料が上がりました。

でも、私は特定15疾患ではないので、介護保険制度のサービスを利用することができません。結局、少ない年金生活が、ますます苦しくなっただけということです。

この介護保険は、生活保護を受けていれ

ば介護扶助が設けられ、利用料が援助されるのですが、受けていなければ何の援助も出ないのです。年金生活者にとっては保険料は上がるし、サービスを利用すれば負担金がいり、経済的にはより苦しくなるケースが出てきます。

そして、また逆にこの介護保険を利用してサービスを受けることができる人がかなり増えたことも事実だと思います。

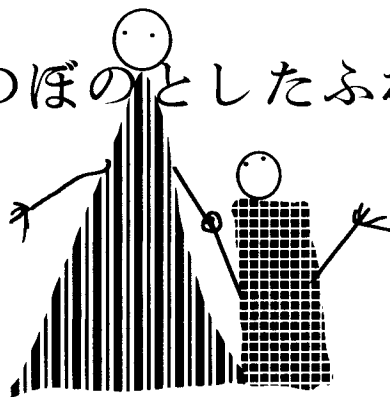
今までは介護制度については、所得制限があったりして利用できなかったのですが、保険制度に変わったために、誰でも保険料を払えば利用できるようになりました。しかし、お金のない人は利用すらできないし、救済制度ではないので保険に加入できない人には何の援助もないのです。

そして、サービスを選べることができるようになった代わりに、そのサービスを選んだ責任もその利用者に問われてくるのです。

一方、サービス提供者は、利用者を選ぶことができるようになります。

例えば老人ホームなどの施設に入所する時、保証人を立てられない人は、断ること

ほのほのとしたふれあい、いかがです。



これは便利。

# 一筆箋

1冊100枚綴 ¥150-

<サロン・あべの>の活動資金調達にご協力ください。

ができるのです。

今までは、本人が亡くなられたりした後の処理は、福祉事務所のケースワーカーなどの人たちが処理されていましたが、今後、施設側の責任で保証人のない人の場合、処理しなければならぬので、そんな面倒な人はお断りという訳です。

このように、福祉から保険に変わったことにより、お金も身寄りもない人は、切り捨てられてしまうのです。

なんてこわいことでしょう!!

今後、このようなケースに関しての何らかの援助策が、ぜひ必要なのではないでしょうか。

自立生活センター・MYIDOO(まいどく)  
(担当||岸田)

〒五五八-〇〇〇二

大阪市住吉区長居西一-九-十二

TEL 〇六-六六〇九-三三三三

FAX 〇六-六六〇九-三三二〇

E-mail

cil-mydo@jasmine.ocn.ne.jp

## ききみみずきん

### ノーマライゼーションとは

阿倍野区民ホールで、北野誠一先生(桃山学院大学教授)のお話しを聞く機会がありました。これは区役所と区社会福祉協議会が主催で「ともに生きるまちづくりをめざす」の連続講演会の第一回目で、テーマは「地域で生きるノーマライゼーションの考え方」でした。ノーマライゼーションとは、「私たちが持つ自然な排他性と経験の中で高められた寛容性の原理」ということで、お話が始まりました。人は常に他を排除する気持ちを持つが、それを乗り越えるのが生活経験ということでしょうか。そして、生活していくには、楽しい地域と苦しい地域があり、楽しい地域は、誰もが当たり前に暮らしていける地域支援があるということでした。他を排除する生活からは、共に暮らせる地域も、福祉の充実も生まれはしないのです。今、高齢者の介護問題が地域福祉のように言われていますが、その状態を正面から見つめている人がどれだけおられるでしょう。高齢者は何も言わずに介護を受けるだけなのでしょうか。高齢者が全面介護を受けるまでには、体や精神にどれだけの負担や症状を合わせ持ってきているか…。

高齢者の仲間入りをしない早世の人を除いて、ほとんどの人は加齢を喜びつつ、歳月を送ります。この歳月が寛容と洞察と少しばかりの理性を育むものでありたいと思いました。(け)

いかかるのかを、調べてもらうことになりました。ありがたいことに腫瘍は良性のものようです。そちらにしばらく滞在することになりそうです。そこには友だちや従兄弟がいるのです。子どもたちは、以前から行きたがっていたのですが、予定はしてなかったのです。最初の検査は、エンゼルフライトで日帰りで行って来られればと思っています。それで、手術にどれくらいかかり、また、リハビリにどれくらいかかるのかがわかります。向こうに親戚や友だちがいてくれるので、本当にありがたいです。

でも誰にもあまり長い間迷惑をかけたくはありません。こちらのゲアの先生は、入院2週間とさらにリハビリとっているんですが、それよりずっと短期間に済むように願っています。子どもたちは、8月末に学校が始まります。ジェラミアはパートタイムで技術関係の専門学校に行きますので、絶対にこちらに戻っていなければなりません。そんなわけで、残念ながら、せっかくあちらに行っても、親戚や友だちとゆっくり会っている時間はありません。

訳 林正弘



## サロン隣組ニュース

### ■「サロン淀川」9月の出会い

日 時:9月17日(日)午後1時30分~午後4時  
場 所:「やすらぎ」  
大阪府淀川区玉木町2-14-3  
内 容:秘伝・おいしいコーヒーの入れ方教えます  
~おいしいコーヒーを飲みながら、マスター自身の  
リハビリ体験と仕事について~

パネラー:武蔵真一氏

会 費:なし  
問い合わせ先:淀川区社協(ボランティア・ビューロー)  
☎06-6394-2900

### ■「ウイズ東淀川」9月の出会い

日 時:9月10日(日)午後1時30分~午後4時  
場 所:大阪市東淀川区民会館4階会議室  
大阪市東淀川区東堀路1-4-53  
(クレオ大阪北裏 区民プール裏)

内 容:だれもか楽しめる動物園を目指して!  
~紙芝居(カバの話・カエルはまむかし物語)  
を交えて~

講 師:芝穂利夫氏  
天王寺動物園飼育課

会 費:なし  
問い合わせ先:鈴木昭二  
☎06-6340-3082 FAX06-6340-3012

### ■「サロンたみ」9月はお休みです

### ■「サロン・ひらの」9月の出会い

日 時:9月9日(土)午後1時30分~4時  
場 所:ここにごセンター  
大阪市平野区平野2-1-30  
内 容:車ですて遊ぼう パートII  
会 費:200円  
問い合わせ先:平野区ボランティア・ビューロー(大西)  
☎06-6795-2200

### ■「サロン・にし」9月の出会い

日 時:9月9日(土)午後1時30分~4時  
場 所:西区ボランティアビューロー室  
大阪市西区新町4-5-14 6階(西区役所隣)  
地下鉄=西長堀駅4A号出口からすぐ  
市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ  
内 容:音楽の生演奏ライブを楽しもう!!  
ティータイムとレクリエーションゲームもある  
楽しい交流会  
会 費:なし  
問い合わせ先:宮脇 ☎06-6537-0241

### ■「小さな友の会・こころの集い」

日 時:9月29日(金)午後6時30分~  
内 容:助け合い 今を大切に生きる  
~故郷の大地に 優しいこころの風を~  
パネラー:片山春男氏  
たすけ愛友の会代表  
会 費:なし  
問い合わせ先:小さな友の会  
☎0724-22-0686 (夜間のみ)

アメリカからの手紙

Hello:

I hope this letter finds you doing well and enjoying nice weather. We have not had a lot of nice weather since the middle of June. A lot of rain and cool weather. I hope it gets sunny soon. I don't mind if it doesn't get real hot though.

We have been busy working on the room downstairs that we are building for Jeramiah. It will be a big room. There is a lot of work to do. I am hoping we will be able to get most of it done this summer. I had hoped it could be completed by the end of summer but we have to travel downstate for Ger's Dr. We don't know what will happen as of yet. We have to go down on the 16th for the first visit and see what will happen as far as surgery and recovery. In between visits downstate we will have to work like crazy to get the work done. The we will have to start working on Susie's room. She wants to paint her walls lilac and will put in a loft bed for her. It isn't a big room but it has a deep closet.

The beginning of the month Jeramiah and I put in 3 flower gardens. It started out as just one small flower garden but we had more flowers than we thought. It is really pretty to see all the flowers in so many colors. The wildflowers we started from seeds are sprouting. It will be nice to see what comes up.

Not much else is happening right now, just wanted to say hi and was thinking of you.

Take Care and God Bless,  
Pam

こんにちは

良い気候の下で、お元気にお過ごしのことと思います。こちらは、6月中旬から寒い雨も多くて、天候には恵まれていません。早く暖かい季節になってくれればと願っています。私は暑さはあまり苦にならないんです。

私たちは、ジェラミアのための部屋を増設するのに忙しく働いています。大きい部屋になるので、やる事がいっぱいです。夏中に大部分を仕上げられたらと思っています。夏中に完成させたかったのですが、ゲアが病院に行くことになったので、できなくなりました。初診が16日で、その時に手術やりハビリがどれだけかかるのかがわかります。その後で、部屋のほうは必死で完成させてしまわなければなりません。それから、スージーの部屋にかかります。自分で壁をライラック色に塗りたいと言っています。そしてロフトベッドにするそうです。部屋は大きくはないのですが、クローゼットに奥行きがあるんです。

今月の初めにジェラミアと私とで花壇を作りました。当初は小さな花壇を一つとっていたのですが、花を買い過ぎてしまって3つになってしまいました。色とりどりに咲く花は本当にきれいです。野生の花の種も芽を出しています。どんな花が咲くのか楽しみです。

今は、こんなところですよ。ただあなたのことを考えて「こんにちは」と言いたかったので書きました。

お体大切に、そして、神のおめぐみを。

パティ

6/23/00

Hi!

Since I am going to pretty much say the same thing to everything this will kinda be a form letter.

The other thing is Ger had a CT scan last week and they found a tumor called a neuroma. It is a tumor that wraps itself around nerves. This one is wrapped around the nerves in his low back. We have to go down state to Ann Arbor VA to see what kind of surgery it will take and recovery time. They do not believe it is malignant Thank God!!! So we will be spending time down state, the kids wanted to go as they have friends and cousins but we were not planning on going down until all this. We hope the first visit we can ride the angel flight down and back the same day. After that we can figure out how long surgery is and recovery and rehab time is. Thank goodness we have family and friends down state. I hope we will not have to inconvenience anyone too long. Ger's Dr up here said the hospital stay is a couple of weeks plus rehab but we are hoping it is much less. The kids start school the end of Aug and Jeramiah is going to a technical school part time so he has to be here for school no exceptions!! So, although we will be down state we will not be able to visit any extra family and friends.

2000年6月23日

こんにちは

多くの人たちに同じことを書きますので、この手紙は定型文のようになります。

ゲアは先週CTスキャンを受け、腫瘍が見つかりました。腰の神経を取り巻いているものです。アンアーバーの病院まで行って、どんな手術で、治るのにどのくら

朗読グループ「ほけっと」のご協力で(サロン・あべの)紙一六九号の録音テープ(六〇分)が出来ました。

朗読テープ文庫

- I (サロン・あべの)紙は、第一号より一六九号までそろっています。(五〇号は九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は一二〇分テープ二本)
- II (サロン・あべの)十周年記念誌「はーとが、はろー!」(九〇分テープ二本+一二〇分テープに収録)
- III 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- IV 「ラジオたんぱ」放送「(サロン・あべの)平成七年五月の出会い」放送分(三〇分)
- V エッセイ集「逃げた『ヨナ』」ポランテシア活動の周辺(岡本栄一著、糸でんわ音訳)
- VI 「キミたちだけじゃ困るんだ」身障者だけで旅した十余年(山田誠 1995・2・22著、糸でんわ音訳)
- VII 「金子みすずへの旅」(島田陽子著・九〇分テープ二本、糸でんわ音訳)
- VIII 「タヤけ空のオニヤンマ」(牧口一二著・九〇分テープ四本、糸でんわ音訳)
- IX 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著・九〇分テープ五本、糸でんわ音訳)
- X 「セルフヘルプグループ」(岡知史著・九〇分テープ二本+二〇分テープ、糸でんわ音訳)

いずれもご希望の方には、タビング、または貸し出しをしますので、富田までお申し出ください。

(☎〇六・六六九一・二〇二八)

感謝

カンパ、著書、ビデオ、ビデオ、カセットテープ、切手、写真、お茶、お菓子、バザー用品等のご寄贈を、また、サロングッズの買い上げをありがとうございました。

赤松菊間、石田花子、稲川絢子、植松菊雄、太田博、岡賀寿子、木口久子、蔵田均、近藤千枝子、西面壮一、阪口悦子、下村実幸、生野智子、高尾澄男、高木陽子、竹島照子、竹村定子、田村昌子、出口正敏、長井由紀、中西久雄、林三起子、松本聡美、村松育子、森本清子、柳生幸子、倭満也子、山野莊一、山村貴司、吉原和郎、その他の方々



編集後記  
FROM EDITOR

住吉の〇さん、阿倍野のIさんから、黒田隆之さんの「自立生活理念を考える—自己決定と介助—」がはじまって、楽しみやら勉強になることが増えてうれしくなります、と。

また、阿倍野のMさんからは7月の「解説付きかるた冊子のPRコラム」に、私も「あつい、あつい」を連発して、大きくうなずいています、と。お便りをいただきました。(石)

編集人; サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.170 [H.12. 8.19.発行] 定価¥1000.  
代表; 山村貴司 ☎546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL 06-6691-9071  
連絡先; 富田慶子 ☎545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX 06-6691-1028  
表題; 井上憲一・筆 文中イラスト; 石田美禰子  
郵便振替口座; サロン・あべの 00950-9-26941  
印刷; セルフ社 ☎546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDEAL2F TEL 06-6719-8212